

2017年4月 生活歳時記（気候・消費動向・ストア販売動向）

関東版

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週									
2017年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1							
2017年 曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月							
行事歳時記念日	熊本の甘夏の日							炭酸水の日							よい酵母の日							よいキュウリの日							羊肉の日									
	◆エイプリルフール(4/1)							◆花見							◆入社式							◆清明(4/4)							◆エピソードの日							◆昭和の日(4/29)		
	◆花見							◆入社式							◆清明(4/4)							◆エピソードの日							◆昭和の日(4/29)									
2016年 日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1							
2016年 曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
東京	天気	曇	曇一時雨	雨	雨	曇一時雨	曇一時晴	大雨	曇	曇	曇	晴	雨	雨	快晴	曇	曇時々晴	晴	晴	晴	曇時々雨	晴	曇	雨	曇	雨	晴	晴	晴時々曇									
	最高気温	18.4	13.3	17.0	21.9	12.8	20.2	20.1	22.9	23.5	23.9	17.1	15.1	19.0	17.6	21.4	20.9	23.1	26.8	21.9	19.3	20.2	23.7	22.4	19.1	23.1	25.1	21.8	15.4	21.4	21.7	25.0						
	最低気温	8.1	7.7	9.5	9.7	9.1	7.3	11.8	11.5	10.9	12.2	7.4	5.1	10.6	13.1	11.0	10.1	16.6	13.8	12.0	9.8	13.3	13.2	14.0	12.1	13.5	14.2	15.2	13.3	11.4	10.5	11.9						
新潟	天気	曇時々晴	晴	曇一時雨	雨	晴	晴一時雨	大雨	曇	曇時々晴	晴	曇時々晴	晴	曇	曇時々雨	晴時々曇	曇時々晴	曇	晴	晴	曇時々雨	曇	曇時々雨	曇	曇時々雨	曇	曇時々雨	曇時々晴	曇時々雨	曇時々雨	曇時々雨							
	最高気温	18.1	21.7	23.4	12.0	14.4	15.8	14.0	15.0	19.6	18.5	9.6	11.7	23.2	18.1	12.5	21.5	26.7	16.9	14.8	16.4	20.9	16.9	23.4	16.9	17.9	19.9	16.8	15.4	13.4	15.8	16.6						
	最低気温	5.7	8.3	12.0	7.9	3.3	8.2	9.1	10.1	8.3	8.4	2.1	1.5	6.6	11.2	6.4	4.0	13.6	11.3	7.5	4.4	11.7	12.1	10.2	9.7	6.4	9.2	9.7	12.2	8.9	8.0	11.4						
年間支出順位	内食順位: 31位(平日: 36位・休日: 12位)							内食順位: 44位(平日: 50位・休日: 26位)							内食順位: 26位(平日: 25位・休日: 17位)							内食順位: 33位(平日: 32位・休日: 33位)							内食順位: 3位(平日: 4位・休日: 15位)									

2016年4月資料

※総務省 家計調査より

関東	前年4月消費支出金額	333,180円	前年4月食費支出金額	80,382円	前年4月光熱費支出金額	23,822円	北陸	前年4月消費支出金額	304,886円	前年4月食費支出金額	75,328円	前年4月光熱費支出金額	25,019円
	前年同月差異	2,885円	前年同月差異	2,747円	前年同月差異	-3,153円		前年同月差異	-28,729円	前年同月差異	-1,281円	前年同月差異	-6,018円
	前月差異	3,965円	前月差異	-3,095円	前月差異	-2,779円		前月差異	-27,790円	前月差異	-2,963円	前月差異	-5,284円

SM売上総額前年比(前月) ※日本スーパーマーケット協会マンスリーレポートより	青果	精肉	鮮魚	惣菜	日記加食	他	4月の注目アイテム年間順位(16年家計調査データより)					
							注目アイテム	4/2~4/8	4/9~4/15	4/16~4/22	4/23~4/29	4/30~5/6
101.9% (101.5%)	●野菜では、気温環境により「トマト」「アスパラ」などのサラダ材料が売上を伸ばした一方、相場安で販売単価が下がった「きゅうり」「きゃべつ」は売上が減少した。	●牛肉の相場が依然として高く、昨年より販売価格が高くなっている「和牛」は厳しい販売環境が続く。一方、相場が安値安定している豚肉の売上は堅調で、特に気温環境で「生姜焼き用」が好調であった。	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●「かつお」は大型サイズの入荷が多く、値ごろ感を出しづらい状況で売上を減らした。	●「海苔類」が売上を伸ばした。特に病気予防効果のある食材としてテレビ番組で紹介された「もずく」が好調であった。	キャベツ	17	15	12	10	5
青果	●輸入フルーツは、「バナナ」が一部にフィリピン産の供給不安定によるマイナス影響を受けたが、概ね好調。また、「ぶどう」の売上伸長が続いている。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●「かつお」は大型サイズの入荷が多く、値ごろ感を出しづらい状況で売上を減らした。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●「海苔類」が売上を伸ばした。特に病気予防効果のある食材としてテレビ番組で紹介された「もずく」が好調であった。	じゃがいも	9	6	5	4	3	
102.0% (102.1%)	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	たまねぎ	3	1	6	15	7	
精肉	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	たけのこ	3	2	4	6	7	
100.8% (99.9%)	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	オレンジ	9	6	2	7	3	
鮮魚	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	他の柑きつ類	11	9	12	14	15	
100.5% (100.6%)	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	牛肉	32	27	25	8	2	
惣菜	●「刺身」「寿司材料」が売上を伸ばした。要因は新入学のお祝いやGW等のカレンダーマーケットにおける需要を取り込めたことがあげられる。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	合いびき肉	12	6	7	33	40	
102.2% (102.4%)	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	まぐろ	10	26	13	20	3	
日記加食	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	かつお	18	17	16	10	13	
102.9% (102.9%)	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	あさり	1	2	6	8	4	
加工食品	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	弁当	3	16	20	21	4	
103.4% (102.7%)	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	サラダ	32	28	7	12	3	
生活関連	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	食パン	5	12	1	20	4	
101.4% (100.5%)	●健康への関心の高まり、花粉症対策としての需要による「ヨーグルト」の売上伸長が続いていて、特に機能性ヨーグルトが好調である。	●牛肉では値ごろ感のある販売価格で訴求できる輸入牛を中心に「焼肉用」「ステーキ」で売上を伸ばした。要因は花見・行楽やお祝い等のカレンダーマーケットを取り込めたことがあげられる。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	●健康への影響の報道以降、売上不振が続いている「加工品」は今月も回復の傾向が見られず。	ドレッシング	17	14	15	9	11	
							年間順位	ベスト10以内			注目週	(赤字)